



J. FRONT RETAILING

2010年 5月17日

会社名 J.フロント リテイリング株式会社  
 コード番号 3086  
 代表者名 代表取締役会長兼最高経営責任者  
 奥田 務  
 お問合せ先 経営計画事業統括部  
 グループ広報・IR担当  
 TEL 03-6895-0178

## 2010年4月度 J.フロント リテイリング 連結営業報告

### 1. セグメント別売上高（対前年増減率：％）

	4月度	累計
百貨店業	▲2.5 ( ▲1.9)	▲2.7 ( ▲2.2)
スーパーマーケット業	▲2.1	▲1.5
卸売業	▲26.0	▲21.1
その他事業	13.4	13.7
連結合計	▲3.7	▲3.5

(注) 百貨店業合計の（ ）内は松坂屋岡崎店(10年1月31日営業終了)を除く既存店ベース。

### 2. 売上高概況

#### 1) 百貨店業

- ・4月度の百貨店事業の売上高は、4月22日に改装オープンした京都店が好調にスタートし、心齋橋店北館効果もあってヤング・ヤングアダルト向け婦人服が堅調であったほか、食料品、美術・宝飾品などの高額品が堅調に推移したものの、例年にない気温低下の影響により婦人・紳士衣料品や婦人雑貨の春物商材が不調であったことに加え、梅田店大規模改装工事の影響もあり、大丸松坂屋百貨店直営店は対前年▲1.6%減、関係百貨店を含めた百貨店事業合計は同▲1.9%減となった。

#### 2) スーパーマーケット業

- ・ピーコックストアは、自由が丘店、上池袋店、新神戸店などが改装効果持続で好調を維持したほか、50周年謝恩セールなどの全店販促も寄与し計21店舗が前年実績を上回ったものの、関西地区の一部店舗閉鎖や中部地区店舗の苦戦が影響し全体としては対前年▲2.1%減となった。  
地区別では、首都圏が対前年▲0.5%減、関西地区が同▲4.0%減、中部地区が同▲8.1%減であった。

#### 3) その他

- ・卸売業の大丸興業は、ホームセンター向け商材やアパレルなど全般に苦戦し、対前年▲26.0%減となった。
- ・その他事業は、大丸梅田店改装工事受注などにより大幅増となったJ.フロント建装が牽引した。

お問合せ先	J.フロント リテイリング株式会社	グループ広報・IR担当
	TEL	03-6895-0178
	FAX	03-6674-7565

## 2010年4月度 百貨店業 営業報告

### 1. 売上高および入店客数（対前年増減率：％）

	4月度		累計	
	売上高	入店客数	売上高	入店客数
大丸 心齋橋店	29.3	76.1	24.2	77.6
大丸 梅田店	▲29.9	▲8.1	▲20.8	▲3.7
大丸 東京店	▲2.9	0.7	▲5.8	0.5
大丸 ららぽーと横浜店	4.1	-	▲3.5	-
大丸 浦和パルコ店	▲1.5	-	▲1.1	-
大丸 京都店	0.4	6.2	▲1.7	4.8
大丸 山科店	▲5.0	-	▲3.8	-
大丸 神戸店	▲8.5	0.6	▲6.4	2.4
大丸 新長田店	▲4.0	-	▲2.6	-
大丸 須磨店	12.9	-	2.6	-
大丸 芦屋店	▲3.5	-	▲1.8	-
大丸 札幌店	8.6	4.8	6.6	4.5
松坂屋 名古屋店	▲3.9	3.1	▲3.7	▲1.5
松坂屋 上野店	3.4	6.7	1.1	5.6
松坂屋 静岡店	▲11.4	▲4.2	▲8.5	▲6.6
松坂屋 銀座店	▲9.0	11.7	▲10.9	4.1
松坂屋 高槻店	▲21.6	7.3	▲21.3	6.3
松坂屋 名古屋駅前店	9.4	4.5	1.9	2.9
松坂屋 豊田店	▲2.9	▲2.4	▲2.3	▲1.6
<b>大丸松坂屋百貨店合計</b>	<b>▲1.6</b>	<b>8.0</b>	<b>▲1.8</b>	<b>7.7</b>
博多大丸	▲3.4	0.3	▲3.0	2.0
下関大丸	▲6.5	▲5.6	▲6.5	▲4.7
高知大丸	▲5.8	▲2.4	▲6.0	▲3.5
<b>百貨店事業合計</b>	<b>▲1.9</b>	<b>-</b>	<b>▲2.2</b>	<b>-</b>

(注1) 松坂屋岡崎店（2010年1月31日営業終了）は除く。

松坂屋岡崎店を含めた売上高は、4月度は直営店合計対前年▲2.2%減、百貨店事業合計同▲2.5%減。

3~4月度累計は、直営店合計対前年▲2.5%減、百貨店事業合計同▲2.7%減。

(注2) 参考数値として、大丸松坂屋百貨店のうち大丸合計は対前年▲0.4%減、松坂屋合計は同▲3.7%減。

3~4月度累計は、大丸合計対前年▲0.5%減、松坂屋合計同▲4.2%減。

(注3) 2010年3月から、大阪法人外商は高槻店から心齋橋店へ移管、また、東京店の個人・法人外商および銀座店の個人外商は上野店に移管。

### 2. 大丸松坂屋百貨店直営店 商品別売上高対前年増減率（％）

	4月度	累計
紳士服・洋品	▲10.1	▲9.3
婦人服・洋品	1.9	1.2
子供服・洋品	▲3.0	▲4.3
その他の衣料品	▲11.4	▲6.2
衣料品計	▲1.4	▲1.5
身 回 品	▲8.9	▲4.8
化粧品	3.1	0.9
美術・宝飾・貴金属	▲4.5	▲1.0
その他雑貨	▲18.6	▲18.6
雑 貨 計	▲2.9	▲2.3
家 具	▲3.6	▲2.2
家 電	▲24.0	▲26.1
その他の家庭用品	▲3.6	▲2.1
家庭用品計	▲4.5	▲3.4
生 鮮	3.8	3.7
菓 子	5.3	▲0.6
惣 菜	▲0.2	▲2.7
その他食料品	▲0.6	▲5.0
食料品計	2.3	▲1.1
食堂・喫茶	▲7.0	▲6.8
サービス	▲39.4	▲40.8
そ の 他	12.4	10.4
合 計	▲1.6	▲1.8

### 3. 売上高概況

婦人服・洋品は、気温低下によるマイナス影響があったものの、心齋橋店北館開設や京都店改装効果によるヤング・ヤングアダルトファッションの押し上げもあり、全体では前年を上回った。紳士服・洋品は天候不順の影響等により、春物衣料を中心に苦戦した。身回品は、アクセサリが売場特徴を中心に好調であったものの、梅田店などの改装工事の影響により婦人靴、ハンドバッグが苦戦した。食料品は、京都店、銀座店など改装オープンによる集客増や心齋橋店の北海道物産展の会期延長効果もあり好調であった。雑貨は、時計が催事の月ずれ等の影響でやや苦戦したものの、化粧品は好調であった。

〔なお、前期(注3)の外商移管の影響を除いた売上は、心齋橋店が対前年24.6%増、東京店 同0.4%増、上野店 同▲2.2%減、銀座店 同▲0.5%減、高槻店 同▲2.8%減。累計の売上は、心齋橋店が対前年19.8%増、東京店 同▲2.4%減、上野店が同▲4.0%減、銀座店が同▲4.1%減、高槻店が同▲2.2%減。〕